


—中学・高校の英語の先生対象講座—

第46回 授業力UPゼミ(東京)

「コミュニケーション英語も英語表現も

4技能統合型で展開する！」

高校の英語の先生を応援します
Presented by 英語の先生応援団 

実践的な指導方法を、ワークショップを通じて実際にご体感いただける「授業力UPゼミ」。今回は2名の講師の先生をお迎えします。

第1部の講師は、東京都立日比谷高等学校の石崎陽一先生。アウトプットのための英文法を体得させる「英語表現」の指導方法を、生徒目線で学んでいただけます。

第2部の講師は、立命館中学校・高等学校の今井康人先生。英文読解からの理解・内在化・発信を軸にした「コミュニケーション英語」の指導と、速書(COC)・精書(SSCC)を使ったイノベティブな英作文指導について、ご体感いただけます。

どちらも高1～高2前半の基礎段階での指導に、特に役立つ内容となっております。明日からの指導にぜひ、お役立てください。

お申し込みはこちら >>

日時	2016年9月25日(日) 10:00～17:00【受付開始 9:30】 第1部 10:00～12:00(2時間) / 第2部 13:00～17:00(4時間) (途中昼食休憩を1時間はさみません)
会場	女子聖学院中学校高等学校 (東京都北区中里3-12-2/駒込駅より7～8分、上中里駅より10分)
定員	50名
講師	第1部 石崎陽一先生(東京都立日比谷高等学校 教諭) 詳細 第2部 今井康人先生(立命館中学校・高等学校 教諭) 詳細
料金	12,000円(税込、『ユメブン1』『スーパー英文読解 英語を自動化するトレーニング 基礎編』テキスト代を含む) 【早割】8月25日(木)までにお申し込みの場合は、10,000円となります。
対象	・中学・高校または中高一貫教育校の英語の先生 ・英語教員志望の方
注意事項	※ご昼食は各自でご準備ください。 ※会場には駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。 ※天災・不慮の事故またはやむを得ない事情により、延期もしくは中止、講師に変更が生じる場合もございます。 ※上記事由以外の理由でキャンセルされる場合は、受講料の返金はいたしかねます。あらかじめご了承ください。
特典	本セミナーにお申込みいただいた先生には、学校宛に季刊誌『英語の先生応援マガジン』(無料、年4回/3月、6月、9月、12月)をお送りさせていただきます。 なお、ご不要の場合、お申し出いただければ、送付は中止いたします。

こんな方におすすめです！

生徒の発信力を向上させるための指導方法・指導展開を知りたい先生
実践的かつ効果的なトレーニング方法を知りたい先生
授業にインタラクション活動・コミュニケーション活動を取り入れてみたいとお考えの先生

お申し込みはこちら >>

第1部 10:00~12:00



石崎 陽一先生(東京都立日比谷高等学校 主任教諭) アウトプットのための英文法を体得させる 「英語表現」の指導

閉じる

プロフィール

1974年東京都生まれ。上智大学で渡部昇一氏に従事。その後、英語を教える初志を貫徹し東京都に奉職。下町の進路多様校、島嶼(とうしょ)勤務、多摩地区の進学指導重点校を経て、現在は東京都立日比谷高等学校で教壇に立つ。2015年より上智大学講師を兼任。専門は18世紀英文法史。文法理論の発達、文法学習の功罪、文法の社会的役割などに主たる関心をもつ。著書に『夢をかなえる英文法 ユメブン1』(共著、アルク)がある。文部科学省高等学校検定教科書(近刊)編集委員を務めるほか、2014年よりNHKラジオテキストにて英文法の連載コラムを執筆中。『英語教育』(大修館書店)をはじめ、専門誌への寄稿多数。

講師の言葉

問題集を何度も繰り返しているのに、生徒に英文法の力が付かない。そんな声をよく耳にします。しかも、うまくいかないのは繰り返しが足りないからだと思い込んでいるケースが多いようです。ややもすると、指導者自身もそのような考えを抱きがちです。実は、以前の私がそうでした。本セミナーでは、拙著『ユメブン1』を用いた英語表現の授業実践をご紹介します。

私自身の失敗と、そこから編み出した指導上の工夫について、先生方に実際に体験していただきながら説明させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

著書

- 『夢をかなえる英文法 ユメブン1』(アルク)

第2部 13:00~17:00



今井 康人先生(立命館中学校・高等学校 教諭) 技能統合的に発信力を鍛える「コミュニケーション英語」の指導と、 速書(COC)・精書(SSCC)を使った英作文指導

閉じる

プロフィール

立命館中学校・高等学校 教諭。北海道立函館中部高等学校にて2003~2008年までの6年間、SELHI 研究主任。2009年英語教育改善のための調査研究事業研究主任。2010年文部科学省研究開発校研究主任。趣味は読書、写真(個展開催歴3回)で、全日本バスケットボール公認コーチでもある。主な著書に『スーパー英文読解 英語を自動化するトレーニング基礎編/応用編』(アルク)、『ゼスター総合英語』(Z会出版)、『英語力が飛躍するレッスン』(青灯社)などがある。2006年6月東日本地区ALT約1000人にプレゼンテーションを実施し、好評を得る。英語授業研究会会員。

講師の言葉

英語教員として34年目。2年連続で、高3生を無事、卒業させることができました。現在は高1の担任で、授業は高3と高1を持っています。生徒たちの合格者数は、京都大、大阪大、神戸大、国公立医学部を中心に大きく伸ばしました。のびのびと育てながら、仲間と一緒にチームで厳しい受験を乗り切りました。大学受験に対応できる英語力を育成しながら、将来、プレゼンテーション、ディスカッションができて、正確な英文を自在に書き、話すことができることを目指しています。また、世界平和に貢献できる人材育成も大切な目標です。日々、授業の工夫改善を行っていますが、特に、基本的な英作文能力の育成は言語活動の根幹を握っています。今回のセミナーでは、生徒が「理解」「内在化」した英語を「発信」するための効果的な指導方法をご紹介します。確実に生徒の英語力が向上する指導法を学び、先生方の授業が生徒の学びの笑顔でいっぱいになることを願っています。よろしくお願いいたします。

著書

- 『[スーパー英文読解 英語を自動化するトレーニング基礎編](#)』(アルク)
- 『[スーパー英文読解 英語を自動化するトレーニング応用編](#)』(アルク)
- 文部科学省検定教科書『Departure English Expression I 』(共著、大修館書店)
- 『ゼスター総合英語』(監修・分担執筆、Z会出版)
- 『英語力が飛躍するレッスン』(青灯社)
- 『Hokkaido - A wonderful world』(共著、文英堂) など

ご注意

「授業力UPゼミ」は、株式会社アルクが開催する、高校の英語の先生や、高校生の英語教育に携わる方々を対象としたセミナーです。このセミナーをきっかけとして、先生方と意見交換をさせていただきながら、高校生や、高校の先生方が使いやすい教材を開発したり、授業法について研究をしていきたいと考えております。そのため、セミナー中に弊社の教材を紹介してご意見をいただいたり、セミナー後に弊社やアルクサポートセンターの担当者が先生方にヒアリングへのご協力をお願いすることがございます。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

[個人情報のお取り扱いについて](#)

以上、[個人情報のお取り扱いについて](#)をご一読、同意頂いた上でお申し込み頂けるよう、よろしくお願いいたします。

お申し込みはこちら 